

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
Ⅰ 構造評価（Structure） 【適切な事業運営】									
（１）理念の明確化									
①	サービスの特 徴を踏まえた 理念の明確化	1	当該サービスの特徴である 「利用者等の在宅の継続」 と「心身の機能の維持回 復」を実現するため、事業 所独自の理念を掲げている		○			・ 自立支援を念頭に利用者様との 関りを大切にしている。 ・ 全体、個別会議で行っている。	・ 理念をしっかりとあげられてい るので「できている」でいいと思 います。 ・ ホームページに分かりやすく理 念が説明されており好感が持て る。
（２）適切な人材の育成									
①	専門技術の向 上のための取 り組み	2	管理者と職員は、当該サー ビスの特徴および事業所の 理念について、その内容を 十分に認識している		○			・ ほぼ認識しているが、できる サービス、できないサービスの理 解をもう少し深めたい。	・ 会議での様子から十分に理解さ れていると考える。
		3	運営者は専門技術（アセス メント、随時対応時のオペ レーターの判断能力など） の向上のための具体的な仕 組みの構築や、法人内外の 研修を受ける機会等を確保 している		○			・ 研修で学ぶ機会があるので。	・ 事業所の活動内容に研修で学んだこ とが活かされるようこれからも継続し た取り組みをお願いしたいと思います。 ・ 研修をされており、取り組みには頭 が下がる思いだが、研修内容が外部か ら分かりにくいように感じる。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
		4	管理者はサービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している		○			・ 職員の皆さんが不安無く業務に当たれるように、新規利用があれば事前に情報提供したり、一人では負担が大きい利用者さんの訪問時には複数名にしたりしています	・ 人材育成は事業所としても大きな課題だと思いますが、やりがいのある楽しみある職場づくりで人材育成の好循環が生まれる事を期待しています。 ・ 利用者さんの状態に応じて対応を柔軟に変えているところに好感が持てる。
②	介護職・看護職間の相互の理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				・ 会議での意見交換や随時相談しながら行えていると思う。	・ 職種間連携の難しさはあると思いますが、みんなが同じ方向を向いて活動できるように継続して頂きたいと思います。
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材の配置（業務・シフトの工夫）を行っている		○			・ オペレーターは基本的に訪問を入れないのが望ましいが人員的に厳しい状況にある。	
②	介護・医療連携推進会議で得られた意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）をサービスの提供等に適切に反映されている		○			・ 週に1回の会議で話し合うことはできている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備										
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている	○				・ ガルーンを通して共有されているが、入力する手間や時間を取られてしまっている。		
(5) 安全管理の徹底										
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等のため、事業所においてその具体的な対策がこうじられている（交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等）	○				・ 夜間訪問時の防犯対策が行えているのかわからない。 ・ 災害訓練は定期的に行えている。	・ 消防訓練での取り組みを拝見し、回数を重ねる度にクオリティが上がっていて職員からも改善点が出ており、職員全員が高い意識で取り組まれていることがわかる。	
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護についての具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				・ 写真やデータの取扱いに注意したい。 ・ 目につくところに個人情報が散乱していることはないのでできているといえる。	・ 個人情報の持ち出し場面も業務上あると思います。その際の情報管理の良い方法があれば教えて頂きたいと思います。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				でき てい る	ほぼで きて いる	でき てい ない こと が多	全くで きて いな い			
II 過程評価（Process）										
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供										
（1）利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
①	利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアクセスの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				・個別に柔軟に対応できていると思う。		
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				・毎月報告書を提出している為、お互い共有できている。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
		14	重度化しても医療依存度を高めすぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			・最期、在宅か施設入所かターミナル状況の時、どうするのか考える必要があると思う。		
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し										
①	計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている		○			・一度訪問を増やすと減らす際になかなか減らすことが難しい状況。適宜アセスメントが必要だと感じる。	・利用者の状況によって柔軟な対応をしてもらっている点は評価できます。訪問の調整に関しては、利用者様ごとの優先度設定を明確化して支援の質を向上していった下さい。	
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				・月1回以上のモニタリングとサービス担当者会議などを利用し、会議を通して計画の変更を行い、可能な限り会議の中で計画変更を行っています。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供										
①	介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するために、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている		○			・ 介護、看護での役割を分担して訪問できているので。		
①	看護職によるサービス提供に関わる指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている		○			・ 介護職への直接指導を行い随時相談と報告を行いながらできている。		
(4) 利用者等との情報及び意識の共有										
①	利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている				○	・ 未実施だと感じる。	・ マネジメントしている者も情報提供の難しさを感じています。個人が特定されない範囲で今まで関わって来られた方の事例などでサービス利用前後の変化など教えて頂いたり、提示できる案内資料などがあれば地域の方の理解も深まるかもしれません。 ・ 森本施設長と一緒に利用希望者様宅を訪問した時はしっかりと説明をされていた印象でした。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
②	利用者等との目 標及び計画の共 有と、適時適切 な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内 容について、利用者等に十分な 説明を行うなど、共通の認識を 得るための努力がされている		○			・計画書に沿いながらの説明を 実施できている。	
		21	利用者の状況の変化や、それに 伴うサービス提供の変化等につ いて、家族等への適時・適切な 報告・相談等が行われている	○				・何かあれば適宜報告を行って いる。	

2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント

(1) 共同生活ケアマネジメントの実践

①	利用者等の状況 変化について の、ケアマネジ メントとの適切 な情報共有及び ケアプランセン ターへの積極的 な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利 用者へのサービス提供状況、心 身の機能の変化、周辺環境の変 化等に係る表法が共有され、 サービスの提供日時等が共同で 決められている		○			・事業所内のケアマネジャーと は直接的なやり取りができてい る。	・小規模多機能と居宅介護支援 事業所間で、利用者様の状況に よってスムーズにサービス転換 が行われている。
		23	計画の目標達成のために、必要 に応じて、ケアプランへの積極 的な提案（地域内へのフォーマ ル・インフォーマスサービスの 活用等を含む）が行われている	○				・適宜相談しあいながらできて いる。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
②	定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				・ 必要時会議を行い多職種が集まり出来ている。		
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントの貢献										
①	利用者の在宅生活の継続に必要な、利用者等に対する包括的なサービスについての、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討後行われている(※任意評価項目)		○			・ 個別会議で見直しできている。		
		26	病院・施設への入院・入所及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている(※任意評価項目)		○			・ 可能な限りにはなりますが、カンファレンスを依頼し、参加しています。必要に応じてセラピストの参加もしています。		

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できて いる	ほぼで きている	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない		
②	多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、きょうゆうがされている(※任意評価項目)		○			・あすならではランチや買い物バスと言った地域の高齢者を対象に安心して住み続けられる街づくりをめざしています。ランチ買い物バス、つながり連絡員など、職種を問わず参加し、情報も共有しています。中身については運営推進会議等で報告させていただいています。	・これからも継続した取り組みをお願い致します。 ・ランチや買い物バスは地域の高齢者にとって良い地域資源の一つになっていて喜びの声を聞きます。

3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画

(1) 地域への積極的な情報発信及び提案

①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				・ホワイトボードやガルーンで記載されているためできている。	
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域におけるたし理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				・学習会を通して事例発表を行っている。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画										
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等に掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している			○		・勉強不足なことも多い。 ・会議の場を利用して、改定があった場合や大きな変更がある場合などはお伝えし、情報を共有している。		
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				・平等になされている。		
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題に認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている(※任意評価項目)		○			・運営推進会議や担当者会議、地域ケア会議等を通して包括支援センターの方や地域の民生委員さん、区長さん等と話をさせていたいています。いただいた情報をもとにサービス利用につながった方もおられます。	・ランチや買い物バスは地域の高齢者にとって良い地域資源になっており包括への相談があった時も情報提供させてもらっています。ぜひ継続していきってもらいたいと思っています。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント	
				実施状況						
				できて いる	ほぼで きてい る	できて いない ことが 多い	全くで きてい ない			
III結果評価（Outcome）										
①	サービス導入 後の利用者の 変化	33	サービスの導入により、利用 者ごとの計画目標の達成が図 られている	○				・ 個々の計画に沿って行えてい る。		
②	在宅生活の継 続に対する安 心感	34	サービスの導入により、利用 者等において、在宅生活の継 続に対する安心感が得られて いる	○				・ 信頼関係が築けるよう努力して いる。		